

平成31年度 都立学校・学校経営シート

校章		都立立川国際中等教育学校		中等教育学校	中等教育学校																				
		国際社会に貢献するリーダーを育成				基 本 情 報	入 学 選 抜 情 報	募集人員	一般枠:男子65人・女子65人、海外帰国・在京外国人枠:30人																
基 本 情 報	所 在 地	〒190-0012 立川市曙町三丁目29番37号		電話 番号	042-524-3903			応 募 倍 率	29年度	男子	5.02	30年度	男子	4.52	31年度	男子	3.98								
		女子	6.34	女子	5.46	女子	5.37																		
本 情 報	ア ク セ ス	(1) JR立川駅、多摩都市モノレール立川北駅 バス(北町行立川国際中等教育学校下車)12分 (2) JR立川駅、多摩都市モノレール立川北駅 徒歩20分 (3) JR南武線西国立駅 徒歩20分				前期課程					後期課程														
		特 色 あ る 教 育 活 動 (学校設定科目等)	① 教育理念「立志の精神」・「共生への行動」・「感動の共有」				生徒在籍数					480人(男子236人・女子244人)					459人(男子213人・女子246人)								
報	目 指 す 学 校		② 6年一貫教育を通じた幅広い教養教育				主な学校行事					HR行事(1年次)、英語合宿(2年次)、 国内研修旅行(3年次)、英語発表会					宿泊防災訓練(4年次)、海外研修旅行(5年次)								
		③ 国際社会で活躍できる力を身に付けるための国際理解教育				主な部活動					サッカー、バスケ、テニス、ソフトテニス、 野球、ラグビー、吹奏楽、英語、茶道、科 学					サッカー、バスケ、テニス、ソフトテニス、 野球、ラグビー、吹奏楽、英語、茶道、科 学									
報	目 指 す 学 校	④ 自己実現に向けた体系的なキャリア教育と計画的な進路指導				校服					男子 女子					制服 ブレザー(紺) ブレザー(紺)					制服 ブレザー(紺) ブレザー(紺)				
		⑤ 第二外国語(フランス語、ドイツ語、中国語)、海外大学進学に向けた選択教科				自律経営推進予算 31年度(単位:万円)					2,213					その他					体育祭(5月)、文化祭(9月)、合唱祭(2月)				
						学校評価					学校生活への満足度:生徒83%、保護者91%、授業についての肯定的評価:生徒81%、保護者78%														
						ホームページ					http://www.tachikawachuto-e.metro.tokyo.jp/site/zen/														
目指す学校		国際社会に貢献できるリーダーとなるために必要な学業を修め、人格を陶冶する学校																							

今年度の重点目標					今年度の取組と自己評価											
目 標 ①	「チーム立国」として教育目標の実現のために組織的な教育活動を展開する。 ①課題解決に向けた協働体制を強化した組織的な運営 ②企画調整会議、教科主任会議、PDCA会議の機能の充実 ③生徒による授業評価、学校評価等を活かした学校運営 ④若手教職員等のOJTへの組織的支援体制の構築				①各学年、分掌等とコミュニケーションを図りながら企画調整会議を中心にとする組織体制を構築した。 ②企画調整会議、教科主任会議を適正に実施するとともに、今年度からPDCA会議を毎学期実施し、課題解決に向けて取組んだ。 ③生徒による授業をを実施し、教員ごとにその結果をまとめて渡し、授業改善に活かした。学校評価結果を学校運営連絡協議会で、次年度に向けた改善策について検討した。 ④地域広報誌「TachikokuTimes」の作成、教科会、分掌会、校内研究、教員による授業観察で若手教員の育成を											
目 標 ②	学力の三要素の育成を意識し、主体的・対話的な深い学びに基づいた学習指導を展開する。 ①新学習指導要領に基づいた6年間の体系的な教育課程を編成及び指導計画の作成 ②主体的・対話的な深い学びに基づいた学習指導の展開 ③学習環境の整備と自宅学習習慣の確立を図る指導の実践 ④難関大学入試に対応できる、教員の教科指導力の向上と授業				①教科主任会議において、検討を進めて作成した。 ②学校経営計画において位置づけ、各教員による深い学びの展開があった。次年度は校内研修で更に充実させる。 ③自宅学習時間の目標を各学年設定した上で、生徒の自宅学習時間を把握し、日常的に指導をした。 ④大学入試分析会、教科指導講座等に教員がのべ62名が参加した。											
目 標 ③	生徒の国際理解を高める観点で、内容の充実を図り、国際理解教育を推進する。 ①協定に基づく姉妹校交流の具体的な内容の構築 ②語学力検定試験受験に向けた指導の実施 ③大学と連携した取組 ④英検各学年の目標級の取得率の向上				①第5学年6期生が、オーストラリア・クイーンズランド州立高校ALBANY CREEK STATE HIGH SCHOOLとYARONGA STATE HIGH SCHOOLの両校を訪問し、2日間にわたって授業参加や生徒交流などを実施。両校からの本校への訪問を今後具体的に詰めていく必要がある。 ②4年生でGTEC-speaking、5年生でTEAPを全員受検。 ③東大をはじめとする高大連携5回の目標に対して回実施した。 ④1年4級以上から6年生で準1級以上まで各学年で目標を設定している。取得率目標55%に対して今年度は83.2%											
数 値 目 標	今年度の数値目標の内容					28年度		29年度		30年度		今年度		32年度	33年度	34年度
						目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標
	目標①	難関国公立大学等合格者数				15	1	15	9	15	5	8	13	8	8	8
	目標②	学校評価(生徒・保護者の満足度)				95%	90%	95%	90%	95%	85%	95%	86.8%	95%	95%	95%
目標③	平均自宅学習時間(分)				150	143.4	180	155.9	180	143	180	101.4	180	180	180	



国際社会に貢献できるリーダーとなるために必要な学業を修め、人格を陶冶する。

立志の精神

共生への行動

感動の共有

[三つの教育理念のもと、全ての教育活動を通して教育目標の実現を図る]

- ・ 学習指導 学力の三要素 主体的・対話的な深い学び
- ・ 進路指導の充実 生活指導の充実
- ・ 学校行事（体育祭・紫翠祭・合唱祭・宿泊行事・・・） ・ 部活動
- ・ 国際理解教育の推進 ・ ・ ・ ・ ・
- ・ 安全・環境美化・健康指導 ・ ・ ・

※学力の三要素

- (1) 基礎的・基本的な知識・技能
- (2) 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等
- (3) 主体的に学習に取り組む態度

(1) 教育目標
(2) 教育理念

国際社会に貢献できるリーダーとなるために必要な学業を修め、人格を陶冶する。

立志の精神

国際社会に生きていく人としての自覚をもち、自ら志を立て、未来を切り開いていく力を育成する。

共生への行動

国際社会にあって、自己の考えを明確にもち、表現できる能力を養うとともに異なる文化を理解し、尊重する態度を育成する。

感動の共有

学校教育のあらゆる場において、生徒の主体性を重んじ、達成感、連帯感を育成する。

(3) 育てたい生徒像

- ① 幅広く学び、より豊かで深い教養を身に付けた生徒
- ② 日本語への理解を深め、豊かな表現力をもつ生徒
- ③ 将来、国際社会で活躍できる素養のある生徒